

1 国際技術協力

本市上下水道局は、「北九州市上下水道事業中期経営計画」において、「本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献」を重点施策に掲げ、国際技術協力に取り組んでいる。

現在は主として、カンボジア国、ベトナム・ハイフォン市、中国・大連市、インドネシア、ミャンマー・マンダレー市への国際技術協力を行っている。

主な取り組み

(1) カンボジア国

○ 上水道分野

カンボジア国は、内戦が終息した平成3年以降、「水へのアクセス」を国復興のための最重要課題として取り組んでおり、都市部及び郡部の国民に対して「水アクセス」を可能とする国家目標を掲げ、諸対策を実施している。本市上下水道局は、厚生労働省及びJICA（独立行政法人国際協力機構）の要請を受け、人材育成を目的とした技術協力に参画している。

【プノンペンへの技術協力】

本市は、平成11年から平成18年まで技術協力や人材育成に努め、飲用可能な水道水の供給、無収水量率の低減（平成18年10月時点で8%）及び24時間給水の実現等、プノンペン水道公社は飛躍的な向上を成し得た。

- ① 個別専門家派遣事業（平成11年度～平成14年度）
「水道施設の運転維持管理」を指導テーマに専門家を派遣した。
- ② 小規模開発パートナー事業（平成13年度）
「同一配水システムの構築を目指す都市への技術・機材移転」をテーマに、専門家派遣と機材供与（本市所有のテレメータ31基）を行った。
- ③ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト（平成15年10月～平成18年10月）
プノンペン水道公社の人材育成を目標にしたプロジェクトを行った。
- ④ CLAIR自治体職員協力交流事業（平成19年7月～平成19年11月）
プノンペン水道公社から研修員を受入。

フェーズ2 カンポットでのバルブ操作の指導

【地方8都市への技術協力】

- ⑤ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト フェーズ2
（平成19年5月～平成24年3月）
シェムリアップなど地方8都市において、水質分析技術、浄水処理技術、配水施設の維持管理など水道技術の向上に取り組んだ。
- ⑥ カンボジア国水道事業人材育成プロジェクト フェーズ3
（平成24年11月～平成30年6月）
上記地方8都市において、水道局の経営能力向上を目的とした事業を実施。
地方8都市から研修生を受入れ、職員派遣を実施。
- ⑦ シェムリアップ市における水道施設管理能力の向上事業
（平成25年度～平成27年度）
活用事業：JICA草の根技術協力事業

フェーズ3 シハヌークビルで料金徴収事務の指導

○ 下水道分野

プノンペン都の下水道整備、水環境改善に向け、JICA、国土交通省、民間企業と連携した技術支援を開始。

- ① 下水・排水改善に関するマスタープランを作成するため、JICAとともに詳細計画策定調査を実施（平成26年4月）
- ② プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト（平成28年度～平成31年度）活用事業：JICA草の根技術協力事業

フェーズ3 研修員 本城浄水場 U-BCFを見学

(2) 中国・大連市

○ 上水道分野

本市と友好都市関係にある中国大連市で水道事業を行っている「大連市自来水集团有限公司」に対し、JICA草の根技術協力事業等を活用した技術協力を実施。

